

ひろつか

世界が注目

ESD

大原公民館(大原1-15)3階の集会室で子どもたちと交流している、世界各地の教育関係の研究者や行政官ら。ユネスコ(国連教育科学文化機関)が進める、ESDの事業の一環です。総合公園で集めた落ち葉を台紙に貼って、魚を作っています。

女の子が「魚に目を付けよう!」とケニアから来たキャサリンさん(右下の水色の服を着た方)に日本語で話しかけると、キャサリンさんは「Pardon?(なあに?)」。「こうやってねー、ちぎってー」「Oh, I see! (分かったわ)」。言葉を越えたやりとりで、かわいい魚が完成しました。

目次

1～4面…**特集** 公民館でESD…市公民館で全国的にも珍しい取り組みを進めています。ローカルな公民館がグローバルな世界につながるESDの取り組みを紹介します。

4～7面…募集・健康と福祉・お知らせ

8面…「ひろつかTopics」「市長コラム」
広報ひろつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。

●発行 平塚市 ●編集 広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 FAX 0463-23-9467

●配布のお問合せは、ミッド ☎0120-350311 (月～金曜日、午前9時30分～午後5時)



魚の工作を模造紙に貼り付け、大きな一つのアートを作る



公民館の取り組みはローカルだけどグローバルでESD

持続可能な開発のための教育
 エデュケーション フォー サステナブル デベロップメント
Education for Sustainable Development
 イーエスディー
ESDって??

実は日本が提案した考え方

ESDは平成14年(2002年)のヨハネスブルグ・サミット(持続可能な開発に関する世界首脳会議)で、日本が提唱しました。

どんな考え方なの?

日常生活の中で隣り合わせの課題を、地球規模の課題と結びつけて考えます。持続可能な社会を実現するために必要な能力を育てます。

どんなところでしているの?

主に学校教育の分野と、公民館など社会教育の分野での取り組みがあります。

ちょっとSDGsに似てない?

SDGsは持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals) ESDは持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development) SとD、つまり「**持続可能な開発**」の部分は同じ。ESDは教育活動を通して、持続可能な社会の創り手を育みます。ESDはSDGsの実現に貢献する考え方です。

あなたならどう考える?

1 A国の農村部では子どもたちが学校に行けず、教育を受ける機会がありません……
 父：かわいそうに。助けてあげたいけれど、遠い国の話だし。学校建設の募金でもしようかな。

2 娘：お父さん、募金も大切だけど、子どもたちが学校に行けない問題は、そんなに単純な話じゃないかもよ。
 父：ふうむ……。

3 犬：学校の建物がないから行けないんじゃない?
 娘：建物があれば、子どもが学校に行けるのかな?
 父：貧しい地域では、先生もいないかも知れないな。

4 娘：貧しい地域だと子どもが働いていることも多いわよね。どうしてかしら。
 犬：だって働かないと家族が生活できないんだよ。
 父：そもそも働いている子どもは学校に行く時間もないよな。

5 娘：先進国が安い値段でA国の製品を輸入しているのも、国民が貧しくなる要因よね。
 父：A国はお茶で有名だけど、国民の収入が低いんだな。

6 娘：先進国の輸入価格の安さが問題の一つなら、フェアトレード(適正な価格で貿易された製品)の物を選ぶのもいいわね。
 A国に他に稼げる産業がない → 先進国がA国の製品を安く輸入 → 国の貧困 国民の貧困 → 子どもの労働
 製品価格を上げると他国との価格競争に勝てない
 父：世界の問題は身近な生活につながっているんだな。平塚市の公民館でも、持続可能な社会をつくるための視点を取り入れた講座を開いているそうじゃないか。
 犬：行ってみるワン!

市公民館では、全国的にも珍しい取り組みを4年前から続けてきました。公民館という地域に根ざしたローカルな場所で、グローバルな課題を考えるきっかけを作る「ESD」(右欄)を推進する試みです。

☎ **中央公民館** ☎34-2111

用語解説

ESD-Net2030: ESD for 2030の実施を支援するネットワーク。80以上のユネスコ加盟国と50以上の国際的なパートナーが参加。

ESD for 2030: 令和元年(2019年)に国連総会で採択された、ESDを実現するための国際的な枠組み。ユネスコが主導している。

①政策の推進②学習環境の変革③教育者の能力構築④ユースのエンパワメントと参加の奨励⑤地域レベルでの活動の促進、がロードマップに示されている。

大原公民館や大原小学校を見学

「葉っぱで魚を作るという発想は面白いですね。ガーナに帰ったら、今日の体験や平塚の学習環境の素晴らしさを伝えたいです」と話す、アン

ドリユーさん。12月19日、大原公民館と大原小学校(大原1-14)を会場に、ユネスコと文部科学省が主催するESD-Net2030グローバル会合(右下囲み)の現地視察事業「フィールド訪問」が開かれました。この日の目的は、平塚

右上：子どもが「先生」になって、大人に魚の作り方を教えている
 右下：触れ合いで自然と笑顔が生まれる
 下：カナダ出身でユネスコ職員マークさん(左)。「のりで貼ろう」と日本語で子どもたちに話しかける



Overseas

地域に根ざしたESD推進事業を展開する、ユネスコ・アジア文化センターの大安喜一さん(右写真)。大安さんに、アジアの中で見た公民館の特徴を聞きました。

◆世界でも珍しい「公民館」という施設

海外で行政が学校以外の教育施設を造る理由は、学校に行けなかった方に、基礎教育を補償するのが主な目的です。日本の公民館のように、あらゆる年齢を対象にした生涯学習の場は、アジアであまり例がありません。ヨーロッパでは「民衆大学」という形で教養を深める社会教育施設がありますが、対象に子どもが含まれないので、公民館のような世代の幅はありません。

ESDの根本である「持続可能性」の観点から考えると、公民館が全ての世代の交流の場として機能しているのは、とても大きなメリットです。知識を溜め込むだけでなく実際に行動し、自分で考える力・理解する力を養う実践の場としても役立つのではないのでしょうか。

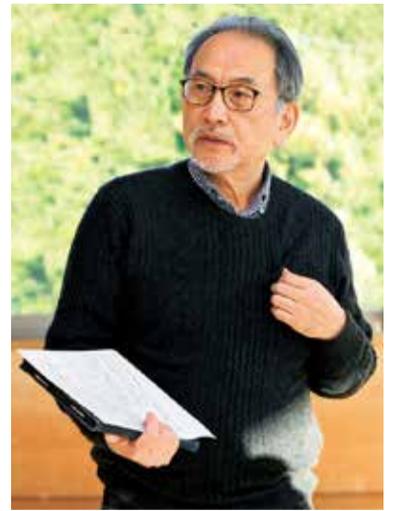
現代社会はいろいろな面で海外とつながるグローバル化が進み、また、変化も非常に速いです。新しいことは、大人より子どもの方が知っていることも多いで

すよね。大人が教えるのではなく、子どもから学ぶ。子どもと大人の交流でお互いに多様な視点や考え方を学び、視野を広げる。それが持続可能な社会をつくることにつながるのではないのでしょうか。

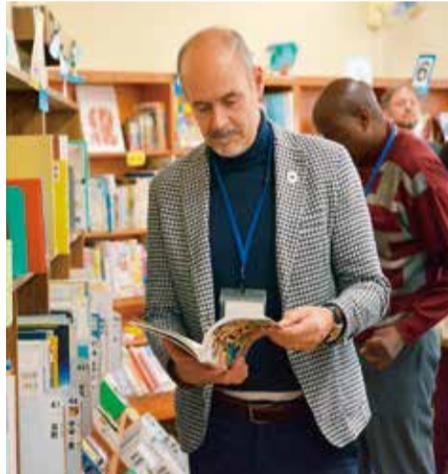
◆「平塚モデル」を海外へ

ESDの視点の一つに生涯学習があります。空間軸と時間軸で生涯学習を考えてみましょう。空間軸は公民館・学校・家庭・会社といった広がり、時間軸は世代を超えた広がりです。この空間軸と時間軸を、ESDをキーワードにして、公民館でつなげていくこと。全ての世代が協力していくことに意味があります。

平塚市の特徴は、既存の事業にESDの観点を取り入れ、実態に即した進め方をしている点です。押し付けでも借り物でもなく、自分たちでESDを咀嚼しながら活動しているのは素晴らしいことだと思います。ユネスコ・アジア文化センターでは、これまでの平塚市の取り組みを、国際的なオンライン会議などで海外に紹介してきました。「平塚モデル」を紹介し、海外からも知見を得る機会を、今後も作っていきたいですね。



ユネスコ・アジア文化センター
教育協力部長
大安喜一さん



訪れました。今回、大原公民館が開いた事業「大原のみんなで描くOCHIBA ART」の体験(一面)では、大原小学校の子どもたちが「先生」となって、参加者に葉っぱで魚を作る方法をレクチャーしました。子どもたちは「話していることは分からなかったけど、楽しかった」「いろいろな人がいたね」と、にこにこ。参加者らもかわいらしい小さな「先生」たちに、顔をほころばせてい

ました。キルギスから参加したオルガさんは、「子どもたちが伸び伸びとしているのが大変印象的でした。子ども、教職員、地域の大人がお互いを尊重していることや、施設内がきれいに保たれているのも素晴らしいですね。私の国では、小学校の教師1人に対して、児童が50人います。大原小学校のように、少人数のクラスだと目が行き届きやすいので良いと感じました」と、評価します。韓国から参加したキョン・イさんは、「交流も視察も、大変有意義でした。このような形で公民館と小学校が、施設の枠を超えて協力し事業をするのは興味



右上：小学校の図書館で日本語の本に興味深そうに読む参加者
左上：大原公民館3階から大原小学校のグラウンドや総合公園を眺める参加者ら
左：書道の授業を見学する参加者ら

深く、可能性を感じます」と、目を輝かせます。

国内2例目の事業協働地域に

平塚市内には中央公民館と、25の地区公民館があります。各地区公民館には正規職員が1人ずつ配置され、公民館の業務を取りまとめる公民館主事として、公民館事業を展開しています。現在ESDの視点で、全公民館の全事業の振り返りを行っています。

今回の「大原のみんなで描くOCHIBA ART」には、大地のもの(落ち葉)で海のこと(魚)を考えよう、という願いが込められています。落ち葉は総合公園のもので、事前に開かれた大原小学校の授業参観日で、子ども・保護者・地域の方が集めました。子どもと大人、公民館と学校と地域、それぞれの枠を超えた交流の中で開かれた事業です。

市公民館でESDを導入したきっかけは、ユネスコ・アジア文化センターの大安喜一さん(上囲み)が、国内で協働する自治体を探していたこと。市公民館と以前から付き合いのあった東海大学准教授の池谷美衣子さん(下囲み)の推薦で、令和元年にユネスコの事業協働地域に選ばれました。ユネスコが国内の自治体と協働して事業を進めているのは、岡山市に続き平塚市が2例目です。

4面に続く



東海大学学生アチーブメントセンター
准教授
池谷美衣子さん

社会教育・生涯学習を研究している、東海大学准教授の池谷美衣子さん(左写真)。池谷さんに、市公民館でESDを進める意義を聞きました。

◆平塚市の公民館の「底力」

平塚市の公民館で特徴的なのは、設置体制が充実している点です。まず、各小学校区にほぼ一つ公民館があるという設置数の多さ。次に、各公民館に正規職員が必ず配置されているという人的な面での充実。そして、各地区の公民館を取りまとめる中央公民館が主導し、積極的に公民館主事のスキルアップを図っていること。このようなしっかりした基盤があるからこそ、各公民館でESDに取り組むことができているといえます。全国的に見ても、県内で見ても、平塚市ほど充実した体制を整えている公民館は少数派です。平塚市の公民館には非常に大きな底力を感じますし、市民にとって公民館は大きな資源といえますね。

◆公民館はESD実践の場

文部科学省の学習指導要領の中にESDの推進が組み

込まれているため、最近の学生たちはなんらかの形でESDの考えに触れて育ってきています。しかし学校の中で学ぶESDは理論的なものとして、自分たちの生活と切り分けて考えられがちです。一方で、公民館のようなローカルな場所は、身近な生活そのもの。リアリティのある、ESDの実践の場です。ESDを共通の軸として多世代が共に学ぶことができるのは、公民館の最大の特徴であり強みであるといえるでしょう。

◆ESDで社会への信頼感を育てる

本学の学生にシティズンシップ(社会参加に必要な能力を育む教育)を教える中で痛感しているのが、学生たちが持つ社会への信頼感の低さです。「自分が何かをしても聞いてもらえない、世の中は変わらない」、という思いを持った学生が少なくない。そうした状況において、公民館でESDの考え方に触れ、地域の中でいろいろな取り組みをしている大人に出会うのは、若い世代が社会を信じていくことにつながるのではないかと思います。世代を超えたリアルな学びの場としての公民館の役割に、今後も期待していきたいですね。

Domestic

ナデシコビュー

市民の花・ナデシコになぞらえています。評価ポイントは、ナデシコの花びらの数と同じ五つ。持続可能な未来へ向け、意識と人を育みます。

- ①**気づき** 自分の周りにさまざまな課題やつながりがあることに気付けたか
- ②**未来** どんな未来にしたいか考え、望む社会を思い描けたか
- ③**自分事** 関心が湧いたり、自分にできることが分かったりし、行動しようと思えたか
- ④**さまざまな視点** 互いを認め合いながら、さまざまな視点で物事を考えられたか
- ⑤**協力** 協力することに楽しみを感じ、成果が生まれたり、新しいことが創造できたりしたか

平成31年1月にユネスコから話があり、ESDの取り組みを始めることになりました。当初はESDという言葉も内容も知らない公民館主事が7割。世界的な動きと身近

中央公民館館長代理の海老澤建志さん(右写真)は、「ESDの観点を取り入れる以前は公民館事業が固定化し、参加者の感想が『楽しかった』だけで終わってしまうものが多いのが実情でした」と、抱えていた課題を語ります。「地域の方に身近な社会教育施設として、もっと教育的な意味を追求したいという思いを持っていました」。



ESDで公民館事業が進化

持続可能な未来へ

令和2年には中央公民館を含めた全ての公民館事業で、ESDの観点を事業の振り返りをしました。これまでの事業に「変化」ではなく「進化」と、過去にした実績のある事業にESDの視点を足し、内容のブラッシュアップを図ることに。参加者の学びを深めるにはどうしたら良いのかを、各公民館主事がより深く考え、事業を進めたと言いま

す。毎月開いている主事会議では、各公民館主事が抱えている課題を発表し合い、意見交換をしながら事業を改良してきました。

金目・松が丘の4館で、試験的にESDの観点を導入。今ある事業を検証しました。「大安さんと池谷さんがESDの導入をコーディネートしてくれました。ESDやユネスコという言葉が公民館主事が重く捉えてしまうと話が進まない、と感じていたので、いかに肩の力を抜いて取り入れられるのかを考えました」と、海老澤さん。



地域の人と作った七夕飾りのパーツ

「公民館の講座で紹介する内容を、自分ごととして捉えてほしい。そして、より地域を好きになってもらいたいです」と話す、八幡公民館主事の矢後大輔さん(左写真)。八幡公民館(西八幡1-10-22)は地域の方とのつながりが強く、活動も活発だと言います。館内は地域の方の協力で季節ごとにデコレーションされ、地域の方が作った七夕飾りも大切に保存されています。地域の思いが詰まった公

民館です。地域の中から生まれた要望などを、公民館事業に結びつけることも多い、と矢後さんは言います。例えば6月に開いた新規事業「食道楽」は、弦斎食育かるたと弦斎団子」は、地域の方からの「食育を学びたい」という声を受けて企画しました。明治時代の小説家・村井弦斎にちなんだ弦斎食育かるたの釣りゲーム(右写真)や、市内農家が育てた無農薬米を使った団子作りなどをしました。nadeshiko viewに照らし合わせて、学びを深められるよう工夫したと言います。例えば①の気づきは、平

地域とともにESD

令和4年からは、独自のESD評価指標「nadeshiko view」(左上囲み)で事業評価を始めました。公民館主事の中でも事業に対する充実感が

未来を作る 行動変容

生まれ、次に何をしようかという前向きな姿勢が広がっていると言います。「何事も、言葉が浸透することで意識が浸透する、という面を持っていると思います。ESDという言葉が公民館事業に参加した方に浸透させ、行動変容にもつなげていきたいです」と、海老澤さん。「持続可能な社会をつくるには、今ある社会のいろいろな部分をつなぎ直さなくてはなりません。人と人をつなぐ公民館で、『持続可能な未来』の創り手を育むことができるよう、これからも取り組んでいきます」。



「公民館の事業は、長年引き継がれているものも多いんです。でも、そこにESDの視点を足すことで、単なる前例の繰り返しではなく、参加者の方の気づきや学びにつながることであります」と、矢後さんは力を込めます。「これからも一つ一つ考えながら、公民館事業をブラッシュアップしていきたいですね」。

ちゅうおうFESTA

中央公民館で学習活動をしている団体が、発表や作品展示、体験教室などをします。景品がもらえるスタンプラリーもあります。1月27日(土)・28日(日)、午前10時～午後4時。中央公民館。 問 中央公民館 ☎34-2111

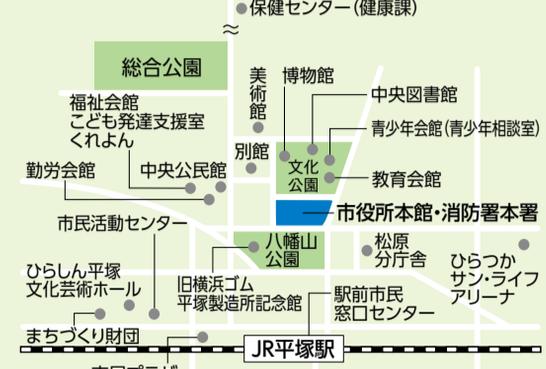
「公民館の事業は、長年引き継がれているものも多いんです。でも、そこにESDの視点を足すことで、単なる前例の繰り返しではなく、参加者の方の気づきや学びにつながることであります」と、矢後さんは力を込めます。「これからも一つ一つ考えながら、公民館事業をブラッシュアップしていきたいですね」。

令和5年9月に、関東甲信越静の公民館関係者が集まる公民館研究大会が、長野県で開催されました。同大会では神奈川県からの推薦で、矢後さんらが平塚市のESDの取り組み成果を発表。ESDへの関心は高く、県内外の公民館から、多くの質問が寄せられたと言います。

4月に放課後児童クラブへ入所を希望する方の申請(2次)を受け付けます。詳しくは、市ウェブをご覧ください。また、各放課後児童クラブまたは青少年課 ☎71-5950へお問い合わせください。

応募方法

- 応募方法 応募必須 問 問い合わせ
- e=電子申請システム (e-kanagawa) で応募可
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、1月22日(月)午前8時30分から、受け付けます。
- メール応募の場合 @以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

往復はがき		郵送・ファクス・メール	
住所	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項	氏名	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項
返信	往信	返信	往信

募集

応募方法は ライフアリーナ。小学生30人(先着順)。室内用運動靴。動きやすい服装でお越しください。

放課後児童クラブ(学童保育)の入所申請

馬入ふれあい公園かけっこ教室

平塚・伊勢原創業スクール

中栄信用金庫 ☎81-1、



健康と福祉

応募方法は4面

介護保険適用住宅改修の受領委任払制度の説明会

2月13日(火)～16日(金)に、市ウェブでの配信による研修説明会をします。新たに住宅改修で制度を利用する事業者は必ず参加して、事業者登録をしてください。

事業所名・担当者名・電話番号・メールアドレスを、電話・メールで、2月2日(金)までに、介護保険課☎21-8790(kaiigo)へ。

大人のためのオーラルケア講座

2月21日(水)午後1時30分～3時。保健センター。市内在住・在勤の方20人(先着順)。歯ブラシ。

電話または直接、健康課☎55-2111へ。

ゆめクラブ湘南平塚趣味の作品展

2月1日(木)～5日(月)、午前10時～午後5時。市民プラザ。

小児・乳児を救うための救命講習会



子どもに合わせた心肺蘇生法(写真)や自動体外式除細動器(AED)などの取り扱い方法を学びます。

2月24日(土)午前9時～正午。消防署本署。市内在住・在勤・在学で中学生以上の方25人(抽選)。筆記用具。動きやすい服装でお越しください。

電話または直接、2月2日(金)までに、消防救急課☎21-9729へ。

折り紙で作る鉛筆立て体験コーナー。3日(土)・4日(日)。各日25人(当日先着順)。

市老人クラブ連合会事務局☎36-7227

無料口腔がん検診

3月10日(日)午後1時～4時。保健センター。市内在住の方55人(抽選)。

必要事項・年齢・口腔がん検診希望を、はがきで、1月31日(水)までに、〒254-0082 東豊田448-3 平塚歯科医師会☎26-8255へ。

はたらつく・ひらつかの説明・見学会

市が就労準備支援事業の拠点として設けている施設です。生活リズムの改善や得意なこと探しなど、就労準備の手伝いを行います。支援内容の説明などをします。

2月14日、3月13日の水曜日、午前10時～午後3時。はたらつく・ひらつか(宮の前)。

ひらつか防災ガイドブックが新しくなりました



想定される災害ごとに、災害リスクや避難の方法などを掲載している他、備蓄品チェックリストなどの防災情報をまとめた冊子です。本館1階の案内窓口や駅前市民窓口センター、各公民館などで配ります。

災害対策課☎21-9734

6-24。市内在住の方、各日5人(先着順)。

電話で、1月22日(月)午前10時から、はたらつく・ひらつか☎73-8262へ。

初心者手話講習会

2月27日～3月26日の火曜日、全5回、午前10時～正午。福祉会館。市内在住・在勤・在学で、4回以上参加でき、初めて手話を学ぶ小学校3年生以上の方20人(先着順)。筆記用具・マスク。

くらしの相談講座

2月17日(土)午前10時～正午。市民活動センター。市内在住・在勤・在学の方38人(先着順)。

講座名・氏名(ふりがな)・電話番号を、電話・メールで、

子どもの健康 2月

会場は保健センター。母子健康手帳をお持ちください。詳しくは、市ウェブをご覧ください。

健康課☎55-2111

◆母親父親教室(予約制) 20組(先着順)。

★快適マタニティライフ編 妊娠中の食事などの話をします。3日(土)午前10時～正午。妊娠中の方と家族。歯ブラシ。動きやすい服装でお越しください。

★赤ちゃん誕生準備編 育児のポイントなどを話します。16日(金)午後1時30分～3時30分。妊娠8カ月以降の方と家族。

◆産後メンタルヘルズ相談(予約制) 28日(水)午後。育児や生活の悩みなどがあり、主治医

のいない方または家族3人(先着順)。

◆乳児の個別健康診査 4カ月児・8～10カ月児。実施医療機関へ直接申し込んでください。実施医療機関の一覧表は、市ウェブや保健センターにあります。

◆歯科健康診査(予約制) 14日(水)午後1時～2時30分、22日(木)午前9時～10時30分。2歳1カ月児～2歳6カ月児。

◆産後ルーム ママはぐ(予約制) 触れ合い遊びなどをします。食事の提供もあります。26日(月)午前10時～午後1時。4カ月以内の乳児がいる初産婦で、育児に不安がある方ら12組(初

めての方を優先)。500円。

◆7カ月児(令和5年7月生まれ)相談(予約制) 6日・20日の火曜日、午前9時～10時。

◆育児相談 14日・28日の水曜日、午前9時30分～10時30分。

◆歯つばい はみがき教室(予約制) ★準備期編 13日(火)午前10時～11時。8カ月児～1歳0カ月児。

◆離乳食・幼児食教室(予約制) 各20組(9カ月児～1歳6カ月児は15組)。100円。

★5・6カ月児 5日(月)午後1時30分～2時30分。

★7・8カ月児 7日(水)午後1時30分～2時30分。

★9カ月児～1歳6カ月児 19日(月)午前10時30分～11時45分。

家族介護リフレッシュ

市内在住で家族の介護をしている方。抽選。

①2月5日(月)午前9時30分～午後0時30分。南部福祉会館(袖ヶ浜20-1)。6人

②7日(水)午前9時30分～午後0時30分。西部福祉会館(公所88)。9人③8日(木)午前9時30分～午後0時30分。リ

1月23日(火)から、市民情報・相談課☎20-5775(jousou)へ。

フレッシュアップラザ平塚(大神4-20-8)。6人④9日(金)午前9時30分～午後0時30分。福祉会館。9人⑤9日1時30分～4時30分。福祉会館。9人。

電話で、①は1月31日(水)②は2月2日(金)③は5日④⑤は6日(火)までに、福祉会館☎33-3100へ。

介護事業所の就職説明会

市内で就労を希望する方に向けて、介護事業所を運営、

広告

平塚市のみなさん 葬儀費用の準備は大丈夫? -葬儀のための保険-

ご葬儀で家族に負担を掛けたくないという人が増えています。そんな万一に備えてご家族の経済負担をサポートする保険が生まれました。

もしあん少額短期保険の「ご葬儀サポートプラン」なら、あなたの万一に備えて、大切なご家族への負担をサポートいたします。

満40歳から84歳までが加入でき、95歳まで一年単位で更新が可能で、持病があっても、通院中でも、規定の告知事項に該当しなければどなたでもご加入いただけます。

保険料は月額2,000円からで、死亡保険金は60歳女性の場合167万2千200円支払われます。

また、介護の準備金として、要支援から支払い対象となる介護一時金付定期保険もごございますので、まずは資料請求!お気軽にお電話ください。

資料請求・お問合せ **TEL.0463-22-2953**

株式会社もしあん少額短期保険 〒254-0024 平塚市馬入本町13-2

令和5年12月1日よりサン・ライフファミリーから社名が変わりました。

駅前貸切家族葬 GRAND OPEN

平塚南口ファミリーホール 代官町11-39

2023年12月グランドオープン

完成見学&相談会 オープンイベント開催!

1/19(金)～22(月) 26(金)～28(日) 10時～16時 入場無料

詳細・参加申込みは下記へお電話かHPから

もしもの時・ご相談は24時間いつでもサポート <平塚市内 サン・ライフ直営施設>

0120-94-1447

平塚斎場 サカエヤ・ホール 平塚西セモニーホール

令和6年度の広告を募集

広告は広告主が作成し、作成費用は広告主の負担です。掲載位置は選べません。市ウェブなどにある要綱・掲載基準をご確認の上、応募してください。

①広報ひらつか

発行部数は各号約11万5,000部で、市内の全戸にポストインで配布しています。毎月第3金曜日号の4～7面などの下段に掲載(右図斜線部分)。各号8枠程度(抽選、掲載期間・掲載枠の多い事業者と市内事業者を優先)。料金は、令和6年4月第3金曜日号の掲載分から改定(右表)。

1枠	縦96 ^{ミリメートル} ・横59 ^{ミリメートル} 6万5,000円
2枠	縦96 ^{ミリメートル} ・横118 ^{ミリメートル} 11万7,000円
3枠	縦96 ^{ミリメートル} ・横178 ^{ミリメートル} 16万6,000円
4枠	縦96 ^{ミリメートル} ・横237 ^{ミリメートル} 20万8,000円



②市ウェブサイト

トップページの下段に掲載(右図黄色部分)。同ページのアクセス数は月平均約10万件です。(令和5年1月～12月の件数で算出)。縦60ピクセル・横120ピクセルのGIFまたはJPEG形式のファイルで、容量は5^{キロバイト}以内。18枠(公共機関を優先するなどの条件があります)。月額は、1枠当たり3万円、継続6カ月以上で2万7,000円、継続1年間で2万4,000円。
 市ウェブや本館4階の**広報課**☎21-8761(1)koho@平塚市ウェブサイトに広告のデザイン案を、郵送・メールまたは直接、①は2月9日(金)②は3月1日(金)までに、同課へ。



次回納期の市税・手数料

- 納期限 1月31日(水)
- ①国民健康保険税(第8期)
 - ②後期高齢者医療保険料(第7期)
 - ③介護保険料(第8期)
 - ④清掃し尿従量手数料(第10期)
- ①保険年金課☎21-8775
 ②保険年金課☎21-9768
 ③介護保険課☎71-5238
 ④収集業務課☎21-8796

4時。勤労会館。30人(先着順)。
 電話で、ハローワーク平塚☎24-8609へ。

認知症サポーター養成講座

2月29日(木)午後1時30分～3時。須賀公民館(夕陽ヶ丘60-32)。市内在住・在勤の方20人(先着順)。筆記用具・飲み物・マスク。

わかちあいの会

大切な方を自死(自殺)で亡くされた方の集いです。参加

認知症予防教室

2月22日(木)午後1時30分～3時。南原公民館(南原2-15-1)。市内在住・在勤で65歳以上の方または家族20人(先着順)。筆記用具・飲み物・マスク。動きやすい服装でお越しください。

意見交換会

平塚駅周辺の将来像を示す構想へのご意見をお聞かせください。

お知らせ

西図書館の臨時休館

2月8日(木)～11日(祝)、特別整理のため西図書館(山下3-29-1)は休館します。
 西図書館☎36-3555

意見交換会

平塚駅周辺の将来像を示す構想へのご意見をお聞かせください。

フォークダンス初心者講習会

普段運動をしない方でも踊れる運動量です。
 午後1時30分～3時30分。18歳以上の方、各日30人(当日先着順)。飲み物。運動のできる服装と運動靴でお越しください。

金田公民館(入野108-1)

2月2日・9日・16日、3月8日の金曜日。
 崇善公民館(見附町1-8) 2月14日、3月13日・27日の水曜日。

市フォークダンス協会の鈴木

☎090-1401-5299

世界の客船資料展示会

世界の客船などの古い写真や珍しい品物を展示します。
 2月1日(木)～29日(木)、午前9時～午後5時(29日は3時まで)。平塚本宿郵便局(平塚2-30-1)。

府川公民館

☎33-5665
 初心者俳句体験
 1月27日(土)午後1時～4時。中央公民館。

平塚俳句協会の石黒

平塚(天沼10-1)④8日(木)午前10時～午後6時。シアウトレット湘南平塚(大神8-1-1)⑤9日(金)午後7時～9時。崇善公民館(見附町1-8)。
 都市整備課☎21-8783

お知らせ掲示板

洋蘭展

会員の育てた洋蘭の展示や、人気コンクールなどをします。
 1月26日(金)～28日(日)、午前10時～午後5時(28日は3時まで)。ラスカ平塚(宝町1-1)。
 湘南蘭友会の仲田☎55-7722

ウィンターコンサート

オーケストラの演奏です。
 1月28日(日)午後2時～4時。ひらしん平塚文化芸術

広告

うちの子「結婚」しないのかしら?
 独身のお子様の結婚相談承ります

お子様の結婚に関するお悩み、プロの仲人がお答えします。
 まずはお気軽に仲人にご相談下さい
045-328-3203
 結婚相談所ムスベル
 横浜市西区浅間町1-6-11 サンシャイン井上3階
 マル適マークCMS取得

あなたも 給付金対象者 かもしれません!

アスベスト

被害者ご家族限定
 弁護士による
初回面談 電話相談 無料

弁護士法人 シーライト藤沢法律事務所
 C-RIGHT FUJISAWA LAW OFFICE
0466-53-9340
 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-5-4 ISM藤沢2階

先着10名様限定! そろそろ塗り替え?気になる方へ

屋根・外壁の失敗しない塗装講座

ご参加いただいた方に **ドローン点検 無料プレゼント!**

開催概要
【日付】1/27(土)14:00~15:30
【会場】平塚市勤労会館 (平塚市追分1-24)
【参加費】無料(要予約)

▼ご予約はこちら **0120-1010-19**
 受付時間 9:00~19:00 (土・日・祝もOK)

講師 小林知重
 早稲田大学院修了、応用化学工学博士、オハイオ州立大学博士、研究員、50年以上続く塗料関連屋の代表を務める塗料・塗装の専門家。



20歳を祝う

1月8日、はたちのつどいが、ひらしん平塚文化芸術ホールでありました。同ホールでは初めての開催です。晴れやかな振り袖やはかま、スーツなどを身にまとった参加者らが、仲間との再会を喜んでいました。



ひらつか Topics



新年に願い込め

1月1日、元日の平塚海岸。平塚沖総合実験タワー越しに、雲間から初日の出が現れました。今年一年への願いを込め、多くの人が初日の出を眺めていました。



演劇&プラネタリウム

令和5年12月22日、『雑貨団シアトリカル・プラネタリウムmission.41「リウマーカイギ ある博物館の丸いお部屋で」』の公演が、博物館でありました。プラネタリウムのスクリーンを生かしたユニークな舞台に、観客の楽しげな笑い声が響いていました。



もしもの水難事故に備えて

令和5年12月17日、着衣泳体験会がトッケイセキュリティ平塚総合体育館の温水プールでありました。13人が参加し、突発的な事故への対策として、水中での体勢の取り方や泳ぎ方を学びました。空のペットボトルを使い、持たないときとの違いも体感していました。



ゆかりの作家や藤田の初期作品を展示

『新収蔵品展 特集展示 藤田嗣治の初期作品』を、2月18日(日)まで、美術館で開いています。

湘南ゆかりの作家の作品の他、エコール・ド・パリの代表的な画家・藤田嗣治が、東京美術学校在学中に描いた油彩画『おことさん』も展示しています。訪れた人は、魅力のある作品の数々に、じっくりと見入っていました。



平塚市には、相模川と金目川の二つの大きな川が流れています。近年の激甚化・頻発化する災害から、市民の皆さまの生命や生活を守るため、川を管理する国や県、そして流域の市町村などが連携しながら治水対策を進めています。現在、相模川では国道1号より下流の堤防の高さを確保するため、擁壁を設置する工事の準備が進んでいます。金目川水系でも河口の唐ヶ原だけでなく、長持、入野、岡崎、西真土などの地区で川底に堆積した土砂を撤去しています。

今後、市民の皆さまの安心安全、生命や財産を守るために治水対策を積極的に進め、未来への持続可能な基盤を築いていきます。

市長コラム

未来への安心基盤

落合克宏

